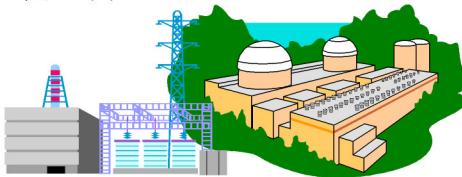


というのを、原子力発電所は安全というシナリオを子供のころから原発のショールームに見学、模型にて説明され地元の人は疑う事など一切なかつた。この移動した日から今日のこの日まで、このような状況になることは、誰もが想定外。一週間後には何となるだろうと、祈つていたが無



まだ、ながーい悪夢から覚めやらぬ状況を、現実に置き換えなければ、必死にわが身に寝返りを打つてゐる。そう、災難状況はさまざま、どの状況がひどい、どの地域がひどいとは、一言で言い尽くせない。命があるだけ運がよかつたと思うほかない。

私の故郷は、福島第一原子力発電所近隣で3km圏内に住居がある。三月十一日の大地震後余震は頻繁にくるが、少し落ち着きを払つていると、ころに、午後十一時頃放送があり、原発の水位が下がつてゐる、大丈夫ですが安全のため3km圏内はただちに中学校の体育館に避難するよう指示があつた。

翌朝方午前八時頃、状況が悪化したのか、20km離れた避難所へ移動を余儀なくされた。2～3日で帰宅できる

法人西川会計様
市蛭田中央自治会
(570名)様

出来ました。本当に感謝の一言だけでは言い尽くせません。
また、いつまで滯在するか不透明、下蛭田の地元でのルールもあるので、早速近所へ挨拶に行こうとしていた矢先、近所の永田様の方から、近隣ゴミ出しルールの資料をいただき、丁寧に説明していただき、困った時何でも相談して下さいと優しく声をかけてくださいました。まるで、自分の家族のように。涙が止まりませんでした。
それから、約一週間後の三月二六日に突然、春日部市下蛭田中央自治会の方4名様(副会長岡部登様・総務部長



残にも祈りは届かなかつた。
だんだん状況は改善されるどころか悪化するばかり、兄妹を何とか埼玉県にと思っていたところ、税理士法人西川会計事務所会長、所長、副所長から豊春の倉庫とおっしゃつていただいた一軒家を快くお借りすることが出来ました。いえ、倉庫とおっしゃつても立派な一軒家で3家族、85歳のおばあちゃん、5歳の子供を含む畳の上での生活が出来るようになりました。本当に有難く、感謝しております。

お風呂も追いだきができる、疲れた心と体をゆっくり温めていただくことが

●友人の気遣いに
ありがとう

私は高校のサッカー部中心の3年間を目指していた一人でした。しかし、最後の大事な時期に足を骨折してしまい、最後のシーズンは毎日悔しい思いをしました。それから必死に勉強して第一志望の大学には進めましたが、どこかスッキリしない気持が残っていました。

大学一年目の夏休みに、高校のサッカー部の友人からみんなで富士山に登山しないかと言われました。久しぶりにみんなで会えるし、体力には絶対の自信があったので余裕な気持ちで約束しました。

しかし登り始めると、体が徐々に重くなるだけではなく、酸素は薄さが体力を奪つて、想像以上に過酷なものでした。特に八合目あたりからは酸素を吸つてばかりであれだけ大口叩いて自分が恥ずかしくなってきました。自分よりも年輩の人達に追い越されしていく姿を情けなく想像しながら、醜態さらして意地で歩いて行きました。

漸く登り、ご来光を見たときの気持ちは言葉には言い表せないものでした。雲より高い山頂で仲間全員と見た景色は忘れられません。

恐らく友人たちが気の抜けた私の姿を見て考えてくれたのでしょう。あの時はありがとう。



●平和な世の中を
ありがとう

心からお祈りしてねります。
(トトロ在住) Michi

●長男夫婦にありがとうございました

私はサイパンの近くのテニアン島にすんでいます。毎朝愛犬を連れて散歩をするのが日課です。散歩の途中の場所には昔日本人の方が造つ



その昔テニアンは太平洋戦争時の日本軍の基地でした。多くの日本人の方が玉碎した場所です。そのお地蔵さんの場所もどなたかが亡くなつた場所なのでしょう。だからいまだに毎年多くの方が日本からお参りに来ます。この間、見慣れたお地蔵さんに手をあわせて通り過ぎようとした時、2体新入りの小さいお地蔵さんがいることに気づきました。とてもかわいいので思わず家に持ち帰り赤いよだれかけを作つてさしあげました。

今の平和でのどかなテニアンを歩いていると60年前の悲劇はとても信じられない出来事です。多くの方が亡くなつた事などなかつたかのようにテニアン桜が咲き乱れております。

その悲劇を子孫達への戒めとして残せるよう、そしてなくなつた方々のご冥福を心からいのつております。

日本では東北関東大震災により多くの方が犠牲になられたそうです。亡くなられた方々のご冥福と早期の復興を

その昔テニアンは太平洋戦争時の日本軍の基地でした。多くの日本人の方々が玉砕した場所です。そのお地蔵さんの場所もどなたかが亡くなつた場所なのでしょう。だからいまだに毎年多くの方が日本からお参りにみえます。この間、見慣れたお地蔵さんに手をあわせて通り過ぎようとした時、2体新入りの小さいお地蔵さんがいることに気づきました。

とてもかわいいので思わず家に持ち帰り赤いよだれかけを作つてさしあげました。

申し訳ありませんが、生き残った心地はしません。幸い我々の家は息子のアドバイスのおかげで一階部分は破壊されてしまつたものの、我々夫婦は2階に避難していましたので無事でした。その後救助隊の方に助けていただきました。

しかし、原発の問題で避難警報が出るし住む家もない。とても不安で長男に連絡を取ろうにも電話も繋がらないので途方にくれていました。ところが震災後3日目に長男が通行止めを突破して東京から迎えにきてくれたのです。我々夫婦は今長男の家に同居させてもらっています。震災前には同居するとは思ってもみませんでした。しかし不思議なもので同居させてもらえることになり、そして息子夫婦の優しさも感じる事ができました。こうなつたら老夫婦一人で余生を東京で楽しもうと思います。親戚もいますしね。みなさん支えていただいて助かりました。ありがとうございました。

り、本当に分かりませんでした。息子だったら一緒にスポーツをしたりして時間を過ごすこともできたのかも知れませんが、父親にとつて娘というのはかわいくもあり、接し方が難しくもあるのでどうしても妻に任せっきりになつてきました。

そんな時、同僚が猫の子供が生まれたから引き取つてくれないかという話がありました。私は軽い気持ちで承諾したのですが、自宅に連れて帰ると娘達は大喜び。更に、家族の中で最も懐いてくれるのが私だったので、娘達に羨ましがられたりして、自然に会話が生まれてきました。

あれだけ真剣にどうしたらいいか悩んでいたのに、子猫一匹で我が家のはもかもが変わってしまったのですから嬉しくもあり、馬鹿らしくも思えました。

私はサイパンの近くのテーアン島にすんでいます。毎朝愛犬を連れて散歩をするのが日課です。散歩の途中の場所には、昔日日本人の方が造つた神社とお地蔵さんがあります。神社の境内には南方の桜が咲き乱れ今の季節はここもきれいです。



私は3月11日の地震と津波で被災しました。もともとは福島県のいわき市四倉町で代々旅館をやっていましたが、近年廃業して東京在住の息子夫婦のアドバイスで家を新築しました。その日地震の後大きな津波が襲つてきました。我々の家は海岸の四倉漁港（道の駅）のはす向かいでした。津波がとおりすぎたあと周囲の建物はすべて流れ海岸線の道路には漁船が打ち

仕事一筋でわき目も振らずに、20年間一心不乱に頑張ってきた私も気がつければ40代半ば。今まで支えてきてくれた家族に「そろそろサービスも充実させなければいけない」と思いどうしようか考えていました。

しかし、いつも遅く帰ってきたり、

●新しい家族に
ありがとうございます

【携帯 De ショット】
統一地方選の投票日。投票所になっている近くの小学校に、鉄棒に括られた黒い2匹のゴールデンリトリバーが..。兄弟なのか親子なのか、投票所の中に消えた買い主を不安げに待ちわびているようだ。



【原稿をお待ちしています。】

- 携帯電話の方はQRコードから →→→
- パソコンの方は下記のURLから↓
<http://1039.seesaa.net/>
- メールでのご投稿は…
info@holonics.gr.jp



【編集・企画】株式会社ホロニックス総研・編集部

因り寄繩がせまで誌は北日本友人北海道からいたいのことば「にあら沖

詩、俳句、短歌、写真、作文、などを作画などを掲載します。作品は編集部まではござりますが、かたでござりますが、

「ありがとうございます」メガネ拭き

トさせていただきます。

皆様からのご投稿をお待ちしております。また、ご自分のお名前や事業所名を刷り込んで身近な方やお客様へ配布されてはいかないかがでしょう。

集めへございましたら是非お聞かせください。

編集部までお問い合わせ下さい。

